

1. 序論

現在インターネット社会でブロックチェーン技術が注目されている中、ビットコインなど仮想通貨などに使われている技術ではありますが、ブロックチェーン技術のブロック自体の情報が整理されておらず、どのような技術が使われているかわからない。そこで仮想通貨のインフラでもあるブロックチェーンの情報を紐解き、その1つ1つのブロックチェーンがどのような役割を果たしているのかについて検証し、情報の精査を行う。

2. 完了までの研究計画

私が行なっている研究内容は、仮想通貨の API を取得しそれらの API をもとにブロックチェーンの情報を取り出す。この取り出したブロックチェーンの情報をデータベースに記録し、データベース内でブロックチェーンがどのような技術が使われているのかについて検索する。その検索する情報は、オープンバッジやブロックサーツと呼ばれるブロックチェーン証明をするための発行書のようなものです。最終的には、約 70 万個あるとされているビットコインのブロック情報を取得し、このブロックの情報から上記のようなオープンバッジやブロックサーツのようなブロックチェーン技術がどこで使われているのかについて精査することを第一目的とする。その過程で現在の研究の進捗状況は 70 万個あるビットコインのブロック情報をまず mongodb を呼ばれるデータデータベースを用いてブロック情報を記録している段階である。このデータベース記録が完了すると次にブロック情報を精査し上記のようなブロックチェーン技術を検索するシステムを作成することになる。そして最後にビットコインのブロックチェーンにて、オープンバッジやブロックサーツのブロックチェーン技術がどの程度使用されているかと言うような調査研究となる。

参考文献

- 1) 一般財団法人オープンバッジ・ネットワーク
- 2) Blockcerts（ブロックサーツ）とは？ブロックチェーン証明書